

アゴラセミナー1b 特別講義

第32回 サイエンスカフェ -防災座談会-

2023年1月18日(水)

17:00-18:30

大阪公立大学 + Zoom

(杉本キャンパス 高原記念館学友ホール)

* 参加ご希望の方は申し込みフォームよりお申し込みください
申し込みフォーム: <https://forms.office.com/r/Ggr29nqCvP>

参加
無料

申し込みフォーム



「見直そう アナログなラジオの災害時の役割」

大牟田 智佐子 氏

(毎日放送 報道情報局

MBS ラジオ「ネットワーク17」元プロデューサー)



みなさんは「ラジオ」と聞いて何を思い浮かべますか? 「非常持ち出し袋に入れるもの」「若いころ深夜放送にはまった」「そういえば最近聞かない」…?

28年前の阪神・淡路大震災では、ラジオが被災者のニーズに密着した「生活情報」を流し続けたことで高く評価されました。しかしソーシャルメディアで地域の細かな情報も入手できるようになった今、ラジオの役割はなんのでしょうか?

「ラジオは単なる『情報入手手段』ではなく被災者と非被災者を『共感放送』でつなぐメディアです」と言う大牟田さんに、災害時のラジオの役割について聞きます。



* 新型コロナウイルス感染症の状況によってはオンライン開催のみに変更になる場合があります



お問い合わせ

大阪公立大学 都市科学・防災研究センター



gr-urec-boffice@omu.ac.jp



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です